

ケース会議の実施

実施場所 病院の地域連携室

実施時期 9月

参加者 担当医、看護師、特別支援教育コーディネーター、学級担任、デイサービス職員、フリースクール職員

目的 ・担当医、各担当の本人への支援の状況や、学校やデイサービス、フリースクールでの様子について、現状把握や共通理解を行い、今後の取り組む課題を明確にする。

内容

- 中学校での様子や支援内容について伝える。
 - ・登校時の様子や学習の様子について
 - ・家庭での過ごし方、保護者の関わり方について
 - ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の目標・支援内容について
- デイサービス、フリースクールでの活動の様子を聞く。
 - ・訪問回数や訪問時の活動内容について
 - ・個別の支援計画について
 - ・保護者の本人への関わり方についてのアドバイス
- 共通して取り組みたい配慮事項について共通理解を図る。
 - ・生徒の実態から、共通して取り組む配慮事項や課題等について共通理解を図り、支援方針を明確にする。

成果

- ・生徒の学校外での活動の様子や生徒に関わる際に配慮することを知ることができ、学校での指導・支援に生かすことができた。(学校)
- ・面談を通して、保護者及び祖父母の本人への関わり方の変化を感じ取ることができた。(フリースクール・デイサービス)
- ・学校で活動できる機会が増え、学習への意欲も出てきた。(本人)